

広報

# あさひまち 1

ASAHI-MACHI

平成13年  
(2001年)  
月号  
NO.530



明けましておめでとう

お正月のしめ飾りづくり（秋葉山交遊館）

# 新春鼎談

てい

## 夢と希望に満ちたまちづくり 三期目にかける清野町長に聞く

◆鈴木 高光 広報委員

昭和39年生まれ。緑町在住。自営業。町工会青年部などで活躍。昨年緑町にマイホームを建築。妻と小3、小1、保育園の子ども3人の5人家族。平成2年より町広報委員。



### 町民一人ひとりの 夢の実現に向けて

思います。

二十一世紀初頭の大変なかじ

取役になるわけですが、まずは  
三期目の抱負からお聞かせください。

◆鈴木 新年明けましておめで

とうございます。また、このた

びは三期目の当選、誠におめで

とうございます。これまで二期  
投票当選と思いますが、三期目  
とうござります。これまで二期  
民の期待が大きくなっていると

八年間の実績が認められての無

投票當選だと思いますが、三期目

とうござります。これまで二期  
民の期待が大きくなっていると

続き町政をあずかることになり  
ましたが、責任の重大さに改め  
て身の引き締まる思いをしてい  
ます。

朝日町は昭和二十九年の合併  
以来、今年で四十七年目を迎え  
たわけですが、人間でいえば熟  
年期に入ったといえると思いま  
す。そんな中で昨年、行政改革  
をはじめ、向こう十年間の町の  
活性化への指針を示した第四次  
朝日町総合発展計画を策定しま  
した。将来のあるべき姿を『夢』  
という言葉で表し、その夢の実  
現に向けて、一人ひとりの個性  
を大切にした町づくりをしてい  
きたいと思っております。

◆町長 地方分権や市町村合併  
など地方自治が大きな変革期を  
迎えようとしている今日、引き

町の財政においては大変厳し  
いものがありますが、行財政改  
革などの推進により、経費節減

に努めるとともに、限られた予  
算の中で、各事業の必要度合や  
優先順位を十分考慮しながら有  
効活用を図っていきたいと考え  
ています。

鼎談：三人が向かい合って話をすること。

昨年十一月十四日に告示された朝日町長選挙。投票日を待たずに  
無投票当選が決まり、三期目の清野町政がスタートしました。  
豊かな暮らしを築くための産業振興、山形市のベッドタウン化を  
視野に入れた主要道路の整備促進、若者定住対策、生みやすく育て  
やすい環境の整備など山積みされた重要課題にどう取り組むのか。  
今月は新春企画として、清野町長と山崎理子さん、鈴木高光広報

委員の三人による町づくり対談をお伝えします。



今井俊助町選挙管理委員長から当選証書を受けとる清野町長

# 産業の振興と交通網の整備で活気ある町づくり



清野 隆 町長

昭和8年生まれ。四ノ沢在住。町産業課長、収入役をへて平成4年12月8日に第5代朝日町長に就任。昨年無投票で3選を果たす。県立上山農業高等学校卒。妻と父の3人家族。

これまで町は、優良選抜したふじへの更新支援などを積極的に行つてきましたが、これからも生産団体と協議をし、有望中生種への切り替えや他作物の導

◆鈴木 山崎さんは四年前に転入されたそうですが、朝日町の生活で感じたことなどを話してもらえますか。

◆山崎 はい。四季折々の自然を感じられるのが、朝日町のすばらしいところですね。冬になれば、雪解けや小鳥のさえずりなどが思い出され、本当に春が待ち遠しく感じるようになります。これまで住んでいた関西では、そういう季節感を感じることが少なかつたですね。ただ、農閑期の冬期間に働く場が少ないということはよく聞きますし、ちょっと残念ですね。

◆鈴木 農家に限らず、就職を控えた子供を持つ親の間からも

◆町長 就業の場が少ないことは事実ですね。相手があることですが、現在一社と企業誘致の話を進めているところです。就

業機会の確保の面からも企業誘致を積極的に進めたいと考えています。

また一方で、交通網の整備を図り山形市内まで二十五分以内の通勤圏域にしたいと考えています。沿線の早期改修に向けて山形市及び山辺町と具体的な協議を続けています。これからは

◆鈴木 自然と人間が共生し、しっかりと暮らしづくりを築くエココミュニティが確実であり、各自治体間の距離感も小さいものとなっています。他市町で収入を得て、自然豊かな生活環境に優れた朝日町で暮らすのも選択肢の一つになってくるだろうと思います。

◆鈴木 町の発展計画の中に、

◆町長 そうですね。農業、工業、商業いずれも重要な産業ですが、基幹産業はやはり農業とご産業が主幹となっていますが、ここ数年価格の低迷もあります。その中でもりんご栽培が主幹となっていますが、行政が一体となつて本腰を入れるとともに、生産者、農協、行政が一体となつて本腰を入れて今後も取り組む必要があると思います。

◆鈴木 先人たちが築き上げてきた『日本一のりんご産地』として自負

◆鈴木 では、商業面はどうでしょう。私は商工会青年部に所属していますが、商店街が空洞化していくのをとても寂しく感じています。関係者は強い危機感をもっていますが、町長さんはどのようにとらえていますか。

◆町長 商業については、経営が個人であるため行政が関与できる範囲は限られていますが、買いややすい、求めやすい環境をつくることが何よりも大切だと思います。こうした環境が整え

◆鈴木 山崎さんは四年前に転入されたそうですが、朝日町の生活で感じたことなどを話してもらえますか。

◆町長 「家から通える範囲で就職させたいのだが、就労の場がなかなかない」という声が多数聞かれますね。

◆町長 就業の場が少ないと

は事実ですね。相手があること

ですが、現在一社と企業誘致の

話を進めているところです。就

業機会の確保の面からも企業誘

致を積極的に進めたいと考えて

います。

また一方で、交通網の整備を

図り山形市内まで二十五分以内

の通勤圏域にしたいと考えてい

ます。沿線の早期改修に向けて

山形市及び山辺町と具体的な協

議を続けています。これからは

生活の広域化がますます進むこ

とが確実であり、各自治体間の

距離感も小さいものとなつてき

ます。他市町で収入を得て、自

然豊かな生活環境に優れた朝日

町で暮らすのも選択肢の一

つになつてくるだろうと思いま

す。

◆鈴木 自然と人間が共生し、しつか

りした暮らしを築くエココミュニ

ティムのまち」とありました

が、しっかりと暮らしづくりを

築くためには、産業の振興が絶対条件に

なると思いますが。

◆町長 そうですね。農業、工

業、商業いずれも重要な産業で

すが、基幹産業はやはり農業と

考へています。その中でもりん

ご産業が主幹となっていますが、

ここ数年価格の低迷もあり、厳

しい状況下におかれています。

◆鈴木 先人たちが築き上げてきた『日本

一のりんご産地』として自負

するとともに、生産者、農協、

行政が一体となつて本腰を入れ

て今後も取り組む必要があると

思います。

◆鈴木 これまで町は、優良選抜した

ふじへの更新支援などを積極的

に行つてきましたが、これから

も生産団体と協議をし、有望中

生種への切り替えや他作物の導



山崎 さとこ 理子さん

昭和33年生まれ。西町在住。農業。平成8年に兵庫県より転入。現在、夫とともにりんご作りに励んでいる。夫と高1、中3、小5の子ども3人の5人家族。





なごやかな雰囲気で進められた鼎談

## 新春鼎談 清野町長に聞く

夢と希望に満ちた町づくり

◆山崎 新たな産業の開発といふ点についてはどうですか。

◆町長 町には地域資源が豊富にあります。観光とエココミュニティアムの理念を一体化させた観光産業の振興もその一つだと思います。例えば、『川の駅』の設置など最上川を活用したものや、里山を利用し都会の子どもたちを対象にした滞在型の山村生活体験コースの設定なども可能性があると考えています。

また、ワイン工場を整備してきたように、農産物の加工部門にも力を入れていきたいですね。

◆山崎 朝日町は依然として高齢化比率は高い数値を示していますが、これから高齢者の福祉対策についてはどうですか。

## 子育ての環境づくり 福祉対策と

◆町長 高齢者の福祉対策については、ふれあい荘を中心として、痴呆性グループホームや高齢者福祉施設（高齢者専用アパ

ート）の整備など今後さらに充実したものにしなくてはならないと思ってています。

◆山崎 田舎の生活にあこがれている人はたくさんいると思いますので、ぜひ進めていただきたいですね。

◆山崎 また、発展計画の中に生み育てやすい環境づくりを考えています。

◆山崎 まことに、私は、生み育てやすい環境づくりについて、ふれあい荘を中心として、痴呆性グループホームや高齢者福祉施設（高齢者専用アパート）の整備など今後さらに充実したものにしなくてはならないと思っていました。

◆町長 その件について、保護者と十分話し合ってみたいと思います。現在、発展計画を受けた『町のこどもプラン計画』



着々と住宅建築が進む緑町



定住対策には魅力ある職場の確保が大切





# あいさつ

# 新年



## 新たなるふるさとづくりに発進

朝日町長 清野 隆

輝かしい新世紀の開幕、そして平成十三年の新春明けましておめでとうございます。

町民のみなさまにはご健勝で希望に満ちあふれた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新しい世紀は、美しい山河やかけがえのない自然、地域の伝統文化など、私たちが長い年月をかけてしっかりと守り育ててきた「ふるさとの遺産」ともいえる宝が、大きな価値観を与える時代になるだろうと思います。

昨年わが町は第四次総合発展計画を策定し、町の宝であり誇りである「自然」、「歴史・文化」、「人」がそれ魅力を發揮しあいながら全国に発信し、交流を深め、存在感のある「にっぽんの新しいふるさと」として発展していくことをめざして第一歩を踏み出しました。

本年は、昨年オープンした創遊館を拠点に薫り高い文化の華を咲かせながら、定住対策をはじめ、美しく快適な環境を守るために合併処理浄化槽の推進、企業誘致による町民所得の向上策など、地方分権と市町村合併へのうねりの中で朝日町らしさを失うことなく、いきがいと夢あふれるまちづくりに邁進してまいります。

町民みなさまの一層のご協力を願い、健康で幸多き年になりますよう心からご祈念を申し上げ年頭のごあいさつといたします。

日本の神話に登場する蛇はヤマタノオロチ（八岐大蛇）といつて、頭が八つ尾が八つ、体の長さは八つの谷を越えるほどだつたといいます。そのオロチが娘を食いにきて、スサノオノミコトという神に退治されたという話です。一方、蛇は神格化され、神話にもしばしば登場します。また、水の神として信仰されたり、家の守り神として家に住みつくのを喜んだりする例もあります。このように、蛇は悪者として恐れられていますが、

約二千七百種も生息  
蛇は八虫類ヘビ亜目の動物で、トカゲと同じ祖先をもつといわれています。温帯、熱帯、亜热带に多く、アラスカ、シベリアなど寒い地方にも生息しています。その数は全世界で約二千七百種もいるといわれています。  
**蛇は悪者？ 神？**



今年は巳年

# 年頭のご

# 謹賀



新年明けましておめでとうございます。  
新しい世紀、二十一世紀の新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。日ごろ町民の皆様には、町政発展のため暖かいご理解と絶大なご協力を賜り心から感謝申し上げます。  
さて、二〇〇一年を迎えて、国や地方を取り巻く環境は大きく変わろうとしております。第二次森改造内閣による省庁再編、そして地方分権の時代を迎え、地域が自らの判断で立案し、実行し、責任を持つことが求められております。分権社会は、住民総参加の社会であると言われており、住民の自主性と対話を基本とし、また、広域的にも連携を持ちながら互いに競争し合い、一方で自然と共生し、安らぎを求める町づくりが大切ではないかと思います。

昨今、長引く景気低迷と厳しい財政状況の中で、町もなお一層独自の発想を持って、効率的な施策を展開すべきと思っております。

輝ける二〇〇一年の幕開けに際し、議会も町発展のため最善の努力をすることを申し上げ、皆様のご多幸と限りない町の発展を願い、新年のごあいさつといたします。

朝日町議会議長　岡崎源吉

独自の発想で  
効率的な施策を展開

神としてあがめられることもあり、いろいろな話が世界各地に伝わっています。  
また、毒蛇が恐れられ、嫌われるのももちろんですが、毒蛇を薬用に使う例もあり、強壮剤としても珍重されています。

蛇に関する故事やことわざ

蛇は古くから人間とかかわりが多い動物だけに、蛇に関する故事やことわざもたくさんあります。例えば「蛇足」。この由来は、昔、楚の国の役人が、蛇の絵を一番早く書いた者が酒を飲むことができるという競争をしました。一人がいち早く完成したのにもかかわらず、時間に余裕があったので足を書き忘れてしまい、負けてしまったという話です。そのことから、あつても意味のないもの、余計なことをいう意味で使われています。

心豊かに暮らせる年に

「蛇穴を出づ」は、冬眠していた蛇が、春暖になつて地上に出てくることをいいます。  
二十一世紀の始まりの今年は巳年。低迷していた景気から脱出して春を迎える、みんなが安心して心豊かに暮らせる年にしたいものです。

# ぼくたち 私たちが描く 10年後の朝日町

明けましておめでとうございます。

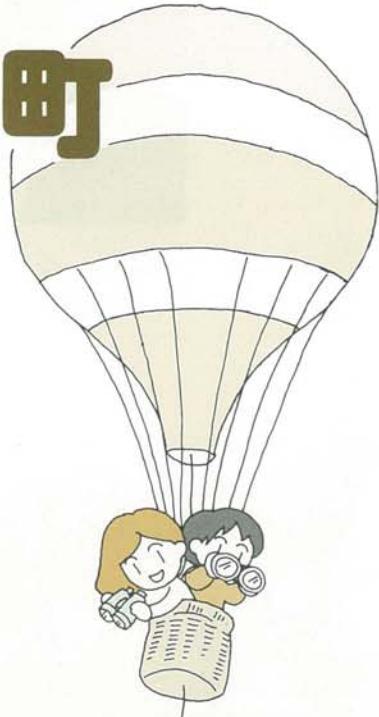
今年は21世紀の始まりの年です。

そこで、年の初めにあたり、町内8つの小学校の5年生に

「10年後の朝日町こんなふうになればいいな」というテーマで作文を書いてもらいました。

10年後には21歳になる子どもたち。

どんな朝日町になることを望んでいるのでしょうか。



## 10年後の朝日町こんなふうになればいいな

(作文に書かれていたことから。複数回答)

自然がいっぱい緑豊かな町	60人
環境を大切にしたきれいな町	40人
お店がいっぱいある町	21人
近代的な施設や建物がある町	16人
便利で暮らしやすい町	13人
観光客がたくさん来る町	13人
安心安全に暮らせる町	12人
有名な町	11人
お年寄りや障害者にやさしい町	10人
人口が増えて活気ある町	8人
農業が盛んな町	8人
子どもたちが元気な町	6人
ボランティア活動が盛んな町	4人
みんな仲良く暮らせる町	3人
働く場所がたくさんある町	3人 など

来年、年男年女を迎える小学校5年生105人に  
200字程度の作文を依頼しました。



立木小学校 5年生



水本小学校 5年生

## 子どもたちの夢・希望 そして、貴重な提案



送橋小学校 5年生

次に多かったのは、「お店がいっぱいある町」「近代的な施設や建物がある町」「便利で暮らしやすい町」という意見でした。

▼一日中楽しむことができると、朝日連峰を眺め、次に食堂やおもちゃ屋や洋服、ゲームセンターがあるショッピングセンターで買い物をして、最後にりんご温泉に入つてリフレッシュして帰れるような、そんな町にな

子どもたちの意見としてもつとも多く寄せられたのは「自然がいっぱい緑豊かな町」「環境を大切にしたきれいな町」にしていという意見でした。

▼「緑が多い町」「川がきれいな町」など、ほかの町から代表される自然が自慢の町になつてしまふから。

▼このままの自然を残したい。山や森を切り開くと動物や鳥が死んでしまうし、大雨になつたとき土砂崩れが起きやすくなってしまうから。

▼朝日町にも酸性雨が降っている。原因は空気の汚れなので、排気ガスを出している車をなくしてソーラーカーを走らせたい。

▼リサイクル施設があればいい。リサイクルすることでゴミを減らせるし、物の大切さわかるから。

▼大きなデパートやディズニーランドのようなものがあるといいな。私たちも便利だし、観光客もいっぱい来て、町が発展するから。

「観光客がたくさん来る町」有名な町に

▼たくさんの人でにぎわう町にしたいな。理由は人が来ると店も増えるし、住む人も増えるから。町のすばらしさをもつと知つてもらえるし、有名になるから。

▼町の自然をいろんな市町村にアピールしたいな。でも、町民が何にも知らないんじゃないから、創遊館に朝日連峰など

の写真や資料を展示して、町全体の人に朝日連峰のすばらしさを伝えるようにしてはどうかな。

▼馬車に乗つて自然を見たり、散策できるようになればいいな。朝日町にきててくれた人が自然の中でゆつたりとした気持ちになり、みんなが喜んでくれる町にしたいな。

▼空き校舎を都会からきた家族



大谷小学校 5年生

に貸してあげられる施設にする。例えば、三中分校だつたら近くで化石がとれるので、化石とりを家族で楽しんでもらえるようにしてはどうかな。

▼川の土を掘つて温泉を作り、町の名物にしたいな。

▼スノーモービル場とか朝日町らしい雪を利用した施設があれぱいいな。

『農業が盛んな町』『働く場所がたくさんある町』に

▼昔からあるものをいっぱい見ることができるようになればいいな。

▼能中の棚田や佐竹家住宅にはたくさん的人がスケッチにきたり、写真を撮りにきたりするのでずつと残したい。

▼各農家でりんごの木をレンタルする。一日レンタルや一週間レンタルなどすれば、農家へ収入



## 自然がいっぱいできれいな町 動物も人間も住みよい町にしたいな

▼もし、だれかがりんごを食べた時に「これはやつぱり朝日町のりんご」といわれるぐらい有名になればいいな。

▼りんごを使った料理やお菓子のコンテストを開いて、みんなで楽しい町にしたいな。

▼朝日町は「りんごとワインの里」なので、「りんごのワイン」ができる、みんなにおいしく飲んでもらいたいな。

▼町のホームページにりんごのことをくわしくのせる。例えば、りんごで作つたおみやげのことやりんごの写真、りんご温泉などをのせる。それを見た県外の人たちや若い人が朝日町にやってきて、りんごを見たり、もいだり、食べたりしてもらつて喜んで帰つてもらう。

そうすれば、お客様がたくさんきて有名になるかもしれません。



▼りんご温泉のとなりにある「世界のりんご園」を広くして、りんごもぎの体験ができるようになります。りんごの町のイメージアップにつながると思います。

▼もし、だれかがりんごを食べた時に「これはやつぱり朝日町のりんご」といわれるぐらい有名になればいいな。

▼りんごを使った料理やお菓子のコンテストを開いて、みんなで楽しい町にしたいな。

▼朝日町は「りんごとワインの里」なので、「りんごのワイン」ができる、みんなにおいしく飲んでもらいたいな。

▼朝日町にも働く場所がいっぱいあつて、山形市辺りまで働きに行かなくてもすむようになればいいな。

▼お年寄りや障害者にやさしい町』『子どもたちが元気な町』にしたい。特に冬の雪ふみは大変なので、みんなが手伝つてあげるような町にする。

▼一人暮らしでたいへんな人や障害をもつている人の家にお使いやせんたくをしてくれるロボットがいてくれたらいいな。

▼老人ホームなどの施設が町に二つあるけど、その施設がお年

が入ると思います。

▼朝日町にも働く場所がいっぱいあつて、山形市辺りまで働きに行かなくてもすむようになればいいな。

園がほしい／動物と遊べる森や広場がほしい／遊ぶところを作つてほしい／工場がほしい／大学がほしい／ゲームセンター／大きい野球場がほしい／自然観斯基場が広くなつてほしい／りんご温泉が大きくなつてほしい



西五百川小学校5年生

## 子どもから高齢者までみんな いきいきと楽しく暮らせる町にしたいな

**子どもたちの決意**

- ▼車や自転車に乗れないお年寄りの人たちが楽に買い物ができる商店街や、障害者の人でも気軽に通えて楽しめるそんな施設があればいいな。
- ▼だれでも入れるビルができるといいな。おじいちゃんやおばあちゃんが気軽に集まれる部屋がほしい。
- ◆公園は大人の考えだけでなく、子どもの考えを取り入れたものを作つてほしい。
- ◆いじめなどなくて、いつもみんなが笑顔でいる町にしたいな。
- ◆人口がもう少し増えてほしい。
- ▼十年後は町が広くなつていると思うな。
- ▼交通事故や火事のない安全な町にしたい。
- ▼歩道が狭いので、もう少し広くなればいいな。
- ▼家並みがきれいな町にしたい。住宅地とかに木がたくさん植えてあつたりすればいいな。
- ▼町全体の人が仲良しで、明るく元気な声でいさつを交わすような町にしたい。
- ▼地区でクリーン作戦をやるなど、いつもきれいな町だといいな。花いっぱい運動もみんなですすめる町にしたいな。
- ▼ポイ捨てをしないなどの決まりを守っていきたい。
- ▼交通ルールを守つて、事故のない町にしたい。
- ▼町の中心部にビルを建てて、そこで町の人の健康を調べたり、道路の計画を立てる仕事をして

子どもたちの夢や希望をぜひかなえてあげたいのです。  
光り輝く未来を  
子どもたちにー。

寄りが気軽に行けて、お金のかからない老人ホームになればいいな。

- ▼車や自転車に乗れないお年寄りの人たちが楽に買い物ができる商店街や、障害者の人でも気軽に通えて楽しめるそんな施設があればいいな。
- ▼だれでも入れるビルができるといいな。おじいちゃんやおばあちゃんが気軽に集まれる部屋がほしい。

あちゃんたちがゆつくりできる部屋、私たちも遊べる部屋、障害者の人にも楽しんでもらえる部屋、お母さんたちが気軽に集まる部屋がほしい。

- ◆公園は大人の考えだけでなく、子どもの考えを取り入れたものを作つてほしい。
- ◆いじめなどなくて、いつもみんなが笑顔でいる町にしたいな。
- ◆人口がもう少し増えてほしい。
- ▼十年後は町が広くなつていると思うな。
- ▼交通事故や火事のない安全な町にしたい。
- ▼歩道が狭いので、もう少し広くなればいいな。
- ▼家並みがきれいな町にしたい。住宅地とかに木がたくさん植えてあつたりすればいいな。
- ▼町全体の人が仲良しで、明るく元気な声でいさつを交わすような町にしたい。
- ▼地区でクリーン作戦をやるなど、いつもきれいな町だといいな。花いっぱい運動もみんなですすめる町にしたいな。
- ▼ポイ捨てをしないなどの決まりを守つていきたい。
- ▼交通ルールを守つて、事故のない町にしたい。
- ▼町の中心部にビルを建てて、そこで町の人の健康を調べたり、道路の計画を立てる仕事をして

『人口が増えて活気ある町』『安心安全に暮らせる町』『ボランティア活動が盛んな町』『みんな仲良く暮らせる町』に。

- ▼人口がもう少し増えてほしい。
- ▼十年後は町が広くなつていると思うな。
- ▼交通事故や火事のない安全な町にしたい。
- ▼歩道が狭いので、もう少し広くなればいいな。
- ▼家並みがきれいな町にしたい。住宅地とかに木がたくさん植えてあつたりすればいいな。
- ▼町全体の人が仲良しで、明るく元気な声でいさつを交わすような町にしたい。
- ▼地区でクリーン作戦をやるなど、いつもきれいな町だといいな。花いっぱい運動もみんなですすめる町にしたいな。
- ▼ポイ捨てをしないなどの決まりを守つていきたい。
- ▼交通ルールを守つて、事故のない町にしたい。
- ▼町の中心部にビルを建てて、そこで町の人の健康を調べたり、道路の計画を立てる仕事をして



上郷小学校 5年生

## かなえてあげたい 子どもたちの要望

交通が便利になってほしい／つりをする場所がほしい／遊園地がほしい／雨の日でも遊べる公がほしい／おもちゃ屋がほしい／テレビ局がほしい／レストランがほしい／警察署がほしい／



## おさいとう

撮影／志藤信勝さん（川通）



小正月の1月15日ころ、町内各地でおさいとうが行われます。

おさいとうは、正月の松飾りや書き初めなどを焼く火まつりの伝統行事で、その火で焼いただんごを食べれば、年中の病を除くといわれています。（写真は川通区での様子）

明けまして  
おめでとうございます



二十一世紀、明けましておめでとうございます。  
「広報あさひまち」も昭和二十九年十一月の第一号から数えて五三〇号。もう少しで半世紀になろうとしています。これまで多くの町民のみなさんに登場していただき、また、取材に協力していただきました。本当にありがとうございます。

広報は、町民に情報をお知らせする情報紙であるだけではなく、より多くの町民の声を反映し、町づくりに生かすための町民と行政とを結ぶパイプ役であると考えております。そのため、朝日町広報委員会は十四名の民間の委員をおき、広く町民の声を集め取材をしています。ニュースや話題、感想、ご意見などありましたら、お近くの広報委員にご連絡ください。

これからもみなさんの声とともに町づくりを考えていけるような広報紙づくりをめざしていきたいと思います。今年もよろしくお願ひします。

11001年元旦

朝日町広報委員会



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。